



絶景展望台に

「あって良かった」以上のトイレを。

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2018 審査結果

主催



協賛



大旗連合建築設計株式会社
OH-HIATA ARCHITECTS & PARTNERS



TOTO

| 千葉委員長 総評 |

(最優秀作品賞・優秀作品賞に選ばれた作品に対して)

最優秀作品賞の登録番号 37 は、単純な造形でありながら、実に繊細な形態操作によって、眺望のことや、展望台のような場所にある建築としてのシンボル性、あるいは人を招き入れるような場の魅力を醸し出していて、大変素晴らしい案だと思う。ただ、構造面での相当な工夫がないと、この魅力は維持できないと思うので、今後のプロセスの中でぜひがんばってほしい。現時点では、屋根を支えている鉄骨が少し見えているが、これがさらに大きな構造体として出てくることがないよう、検討を続けていただきたい。

優秀賞の登録番号 44 は完成度が高く、いつどこに建ってもよさそうな案としてできている。逆にそれが、弱点になってしまったのかもしれない。コンペは、どこかで未知の可能性に賭けたいという側面もある。自分自身としても残念なところがあるが、必ずどこかで実現されるような強さを持った案だと思うので、今後もがんばって構想を温めておいて欲しい。

同じく、優秀賞の登録番号 54 は、トイレということ以上に人が佇める場所に重きを置いていたことが大変素晴らしかった。あの場所の魅力を高める案になっていたのではないかと思う。

(全体)

コンペで、審査をする側にいるというのは、大変つらい。僕自身も応募する側にまわることは今でもたくさんあるし、落とされたことも何度もある。落とされると、「審査委員は、僕の案の良さがわかっていない!」と悔しい思いをするし、そう感じている人もたくさんいると思う。逆に、勝った人は、自分の実力で勝ったと思っているでしょうから(笑)、コンペの審査はなかなか悩ましい。

ただ、ここで皆さんが出してくれた案は、これだけの力が入った模型を作ってください、様々な観点からの検討も加えて頂き、学生とは思えないと言ったら少し失礼だが、素晴らしいプレゼンだったし、注がれたエネルギーに敬意を表したい。今回のコンペで選ばれた案もあれば、選ばれなかった案もあるが、皆さんの温めたアイディアは、必ずなんらかの形でどこかで実現すると、僕は思っている。たまたま今回選ばれなかったとしても、ここで深く練ったアイディアは別のプロジェクトや別の機会に実ることがあると思うので、その構想を今後も大切にしてくださいと、審査委員として救われる気がする。

最優秀作品賞の案は、これから実際に建つという非常に責任ある立場で取り組まなければならないし、今後長い間この場所でのこの建築が多くの人に愛され、色褪せずに残っていくには、様々な人の立場に立った検討を加えないといけないと思うが、ぜひ前向きに取り組んで、あの場所の魅力を引き出す良い建築を残していただきたいと思う。

学生の皆さんが実作の機会に向けて提案し、しかもそれをコンペで選ぶということは全国でも稀な取り組みだと思う。いくつかコンペの審査をしてきたが、これだけ熱のこもった素晴らしい案が集まったのは、実現するという現実的な条件があったからこそだと思うので、このような機会をつくっていただいている県の皆さん、関係者の皆さんに改めて感謝申し上げたい。

| 審査委員会 |

委員長	千葉 学	建築家、東京大学大学院教授
委員	後藤 亜貴	後藤亜貴建築設計事務所代表
	濱田 昌範	濱田昌範建築設計事務所代表
	梅村 幸平	広島県環境県民局環境部長
	宮崎 昌二	広島県土木建築局建築技術部長

| 審査過程 |

BEST-27 1次審査委員会の1回目審査投票で選ばれた27作品



… 全57作品を対象に、各委員が選定したい10作品に投票し、1票以上獲得した作品

BEST-9 1次審査委員会の2回目審査投票で選ばれた9作品



… 27作品を対象に、各委員が選定したい5作品に投票し、1票以上獲得した作品

BEST-6 【入選作品】1次審査を通過した6作品



… 9作品を対象に、委員の議論により選定した、最終審査に進む作品

BEST-3 【優秀作品】最終審査委員会の審査過程で選ばれた3作品



… 6作品を対象に、各委員が選定したい作品に投票し、投票数の多かった上位3作品

BEST-1 【最優秀作品】実際に建設する作品

… 3作品を対象に、委員の議論により選定した作品

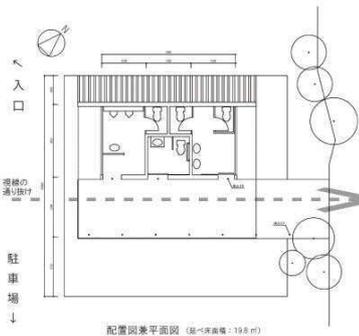
| 最優秀作品 (BEST-1) |

037 | 白須 颯樹, 澤井 遥香 (安田女子大学)



037

景観を愉しむトイレ



配置図兼平面図 (総床面積=19.8㎡)

景観を愉しむ魅力

この形のある建物の内部を見学する場合は、大変素晴らしい景観に満ちます。これまで見せていた、この建物の魅力が何層もあふれ溢れを演出します。

道路から入る人々に、見事な大屋根を、その下に広がる素晴らしい景観を愉しむためのフロアで楽しませます。その下に広がるのは、美しい景観だけでなく、パワースタンドなど新しい発見があるかもしれません。

ローコストで魅力的なデザイン

6m x 3m (約 18㎡) のシンプルで魅力的な平面に、シンプルな建築の組み合わせは、見事なデザインです。大屋根のデザインは、周囲の景観に馴染む魅力的なデザインになっています。

おもてなしのデザイン

子どもを合わせた高さのように入居の空間は、来訪者を迎える、おもてなしのデザインです。

安心して心地よく使える魅力

屋根の傾斜は下部が傾斜された形で、屋根の傾斜が緩やかです。初期に高い屋根の傾斜、傾斜が緩やかで心地よく使えます。見学も安心です。

この大屋根の下から見える光の傾斜が、人々に安心感を与えます。

他の一般的なトイレとは異なり、来訪者の入居に安心感を与える、安心感を与えます。



屋根の構造

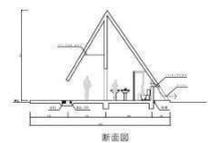
屋根の傾斜は下部が傾斜された形で、傾斜は約30度です。傾斜は約30度です。傾斜は約30度です。傾斜は約30度です。

一方、屋根の傾斜は約30度です。傾斜は約30度です。傾斜は約30度です。傾斜は約30度です。

これにより、RC構造で安心感を与える、安心感を与えます。

ルーバーの役割

ルーバーを設けて自然の空気が入り、トイレの気候を快適にする事ができます。自然換気の役割を果たします。



BEST-1 委員の議論により選定

BEST-3 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田, 梅村, 宮崎

BEST-6 委員の議論により選定

BEST-9 投票した審査委員 | 千葉, 濱田

BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田

委員コメント (最終審査プレゼンテーション後の講評)

○張り出した屋根が地面ギリギリのところまで止まっていることで、魅力的な空間が生まれそうな予感がする。トイレプランも洗練されて良い方向に向かっていると思う。構造面など、実現するためにやる事がたくさんありそうだが、大変しみやかな作品である (千葉)

○形が圧倒的に美しく、トイレプランが一次審査時から修正されていてとても良い。実現させたいと思う気にさせる作品で、そこに惹かれた。模型は白いボードで作られているが、素材感を出した方が説得力があつてよかったのではないかと思います。(後藤)

○造形的にシンプルで潔く、よくできている。実際に見てみたい作品である (濱田)

○快適性、安全性など、内容を深く掘り下げられていた (梅村)

○屋根の角度にはこだわりたいという深い答えが返ってきて、非常に好印象だった。角度に意味がある作品だと思うので、こだわってほしい (宮崎)

| 優秀作品 (BEST-3) |

044 | 前田 元, 林 晃平 (広島工業大学)



BEST-3 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田, 宮崎

BEST-6 委員の議論により選定

BEST-9 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田, 宮崎

BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田,

委員コメント (最終審査プレゼンテーション後の講評)
 ○非常に完成度が高く, 大人な提案。屋根のかけり方も見事で, 佇まいが非常に魅力的だと思う (千葉)
 ○屋根の勾配が絶妙。景色の見せ方が手法としてとても秀逸で, 学生ではすごいと思う (後藤)
 ○とても完成度が高く, この場所でできるトイレとして良いなと思っている (濱田)
 ○洗面所から見える風景にこだわりを感じた (梅村)
 ○高い実現性があり, 設計者の山のトイレに対する思いが詰め込まれた非常に好感が持てる作品である (宮崎)

| 優秀作品 (BEST-3) |

054 | 有重 海音, 六車 凌, 中西 大輔, 高崎 俊一郎 (広島工業大学)



BEST-3 投票した審査委員 | 濱田, 梅村, 宮崎

BEST-6 委員の議論により選定

BEST-9 投票した審査委員 | 千葉, 濱田

BEST-27 投票した審査委員 | 後藤, 濱田, 宮崎

委員コメント (最終審査プレゼンテーション後の講評)
 ○トイレという以上に新しい展望台として使われそうな可能性を秘めていて, 魅力的な提案だと思う (千葉)
 ○トイレとしての機能が最優先の中で, 明らかなる「居場所」を作ったのはこの作品のみである (後藤)
 ○曲線の壁の意味はあり, 無駄なスペースがあって良いと思う (濱田)
 ○アプローチ, 配置, 曲線の壁を含め, 全体的によく考えられている提案である (梅村)
 ○抜けた先が眺望ポイントになって視界が広がっているという考え方は素晴らしい。実現可能性はさておき, 曲線の壁にこだわりたいという, 学生の強い思いが伝わった (宮崎)

| 入選作品 (BEST-6) |

002 | 吉本 大樹 (近畿大学)



- BEST-3 投票した審査委員 | 梅村
- BEST-6 委員の議論により選定
- BEST-9 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田, 梅村
- BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 後藤, 濱田, 梅村

委員コメント (最終審査プレゼンテーション後の講評)

- 経年変化は現代建築において最大の課題のようなもの。真正面から取り組む誠実な姿勢がとても良く、意気込みが伝わってきた (千葉)
- 一次審査時の門型の形が印象的だったが変更されていたので驚いた。自然の石を活用することは評価できる (後藤)
- 一次審査時は、全体的にとってもシンプルでコンクリートの壁に軽く屋根を載せた形が良かった。構造的に少し気にかかる (濱田)
- 石積みという瀬戸内海固有の文化を取り入れている (梅村)
- 建物が今後どのように変わっていくかという観点で考えられている点が非常に良いが、これだけの石を利用するのは難しいと思う (宮崎)

| 入選作品 (BEST-6) |

030 | 境 祐人, 中尾 有希 (鹿児島大学・大学院)



- BEST-3 投票した審査委員 | 千葉, 後藤
- BEST-6 委員の議論により選定
- BEST-9 投票した審査委員 | 後藤, 梅村, 宮崎
- BEST-27 投票した審査委員 | 後藤, 宮崎

委員コメント (最終審査プレゼンテーション後の講評)

- 音の鳴る仕組みが原始的で、その素朴なアイデアが素晴らしいと思う。トイレがただただ音を立てている情景が、あの場所ならあってもよいと思う。ただ、音が鳴らなかつたら致命的な作品でもあり、心配なところはある (千葉)
- 裏付けをとろうとする姿勢や、いろんな材料で試行している点が評価でき、一次審査時の指摘を踏まえ修正する力がある (後藤)
- 建築の捉え方として、時間的経過に対する存在意義に違和感があった (濱田)
- 自然とのふれあいを表現され、木のぬくもりを感じるのが、台風時などの維持管理に懸念がある (梅村)
- 一次審査時から大きく変更され、まとまらなかった気がするが、音や動きに着目した点はユニークなので、今後もこの視点を忘れないでほしい (宮崎)

| 入選作品 (BEST-6) |

049 | 今江 周作, 田中 航平 (近畿大学・大学院)



- BEST-3 投票した審査委員 |
- BEST-6 委員の議論により選定
- BEST-9 投票した審査委員 | 千葉, 後藤
濱田, 梅村
- BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 後藤,
濱田

委員コメント (最終審査プレゼンテーション後の講評)

○造形として二つの切妻が並んでいることが一番やりたいことだと思っていたが、「影」という別の観点で取り組まれていることが新鮮だった。一次審査時のプランにおいて、わずかな空間の中で起きている劇的なシークエンスが魅力的だったため、変更されたのは残念だったが、そのようなポテンシャルを秘めた作品である (千葉)

○コンパクトにおさめられている (後藤)

○一次審査時の、左と右の棟の対比が良く、時折景色が見える動線も気に入っていたが、最終審査で変更され少し残念である (濱田)

○幾何学的かつ彫刻的な魅力があった (梅村)

○地面に落とす影に着目された視点はとてもユニークである (宮崎)

| 審査委員特別賞作品 |

027 | 兼本 祐輔, 堀越 一希, 小浦 幸平 (東京理科大学大学院)



- BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 濱田

委員コメント

○環境面や構造面などいろんなことを考えているのは学生にしては非常に突出していてすごく良い。屋根は傷みそうな素材を使っているので、素材の使い方と環境との関係を同じくらいの精度で考えてくれると、さらに良かった (千葉)

○提案書のボリュームに頑張りを感じた。敢闘賞である (濱田)

| 応募作品 (BEST-9) |

013 | 小山田 駿志, 西 遼, 山内 颯 (日本大学)



BEST-9 投票した審査委員 | 梅村, 宮崎
 BEST-27 投票した審査委員 | 後藤, 梅村, 宮崎

委員コメント

○平面と軒下の余白のバランスが良く、瓦のスクリーンが効果的である (後藤)
 ○瓦を利用するアイデアを評価する (梅村)
 ○空き家など地域の問題を考えている点が評価できる (宮崎)

| 応募作品 (BEST-9) |

021 | 吉村 伊代奈, 金福 真梨奈 (安田女子大学)



BEST-9 投票した審査委員 | 後藤, 宮崎
 BEST-27 投票した審査委員 | 後藤, 宮崎

委員コメント

○シンプルでわかりやすく、形がきれい (後藤)
 ○軸線で勝負しており、風景の確保に絞った提案がとてもシンプルである (宮崎)

| 応募作品 (BEST-9) |

033 | 生田 海斗, 奥野 和希, 魚森 稜也 (広島大学・大学院)



BEST-9 投票した審査委員 | 梅村
 BEST-27 投票した審査委員 | 梅村, 宮崎

委員コメント

○明るく清潔感が感じられ、屋根を膜で作っているという点が評価できる (梅村)
 ○毎年膜を利用した作品がいくつか出てくるが、実現性を考えた上でもよくまとまっている提案である (宮崎)

| 応募作品 (BEST-27) |

007 | 田口 周弥, 高橋 樹 (日本大学大学院)



BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 後藤

委員コメント

- 単純な計画で、中に入ると樹木が見えて快適に感じるが、中庭の維持管理に懸念がある (千葉)
- 軒先の使い方が上手く、特に中庭から軒先のベンチが連動しているところが良い (後藤)

| 応募作品 (BEST-27) |

015 | 島村 僚, 石坂 臨 (京都工芸繊維大学大学院)



BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 宮崎

委員コメント

- 全体のシルエットは形態的にも魅力的だが、路地空間がどのように快適に使われるかがわからなかった (千葉)
- 全体的にまとまっている (宮崎)

| 応募作品 (BEST-27) |

018 | 中村 瑞貴, 南 大輝 (広島工業大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 宮崎

委員コメント

- 木造で作った屋根と曲線のトイレブースが対比的な緊張感を生んでいて快適な空間である (千葉)
- 学生らしい曲線の案が多数ある中で1番まとまっている (宮崎)

| 応募作品 (BEST-27) |

031 | 王 兆琦, 米倉 良輔, 井上 凌成 (神戸大学大学院)



BEST-27 投票した審査委員 | 梅村, 宮崎

委員コメント

- 外観がシンプルでモダンである (梅村)
- 少しずつ軸線をずらすことに考えがあるのだろうが、学生が模索しているところを感じられた (宮崎)

| 応募作品 (BEST-27) |

035 | 湯浅 和也, 上野 祥太郎 (広島工業大学・大学院)



BEST-27 投票した審査委員 | 千葉, 宮崎

委員コメント

- トイレはコンパクトにできており機能的だが、鳥の巣などの懸念事項がある (千葉)
- 木材で屋根を立ち上げるアイデアは面白い (宮崎)

| 応募作品 (BEST-27) |

004 | 石関 花奈 (筑波技術大学)



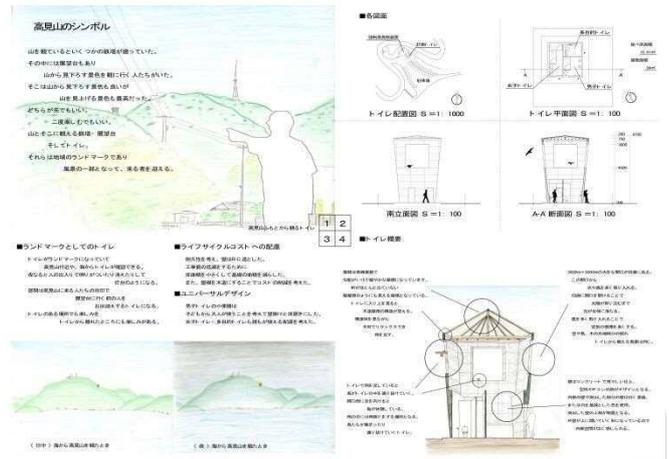
BEST-27 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

- 村上水軍をイメージしたデザインが良い (梅村)

| 応募作品 (BEST-27) |

053 | 村上 大 (広島工業大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 濱田, 梅村

委員コメント

- 平面から立ち上がるような形で想像しやすく、空に抜けているところが評価できる (濱田)
- トイレをランドマークとして考えている点が評価できる (梅村)

| 応募作品 (BEST-27) |

011 | 三吉 奈々未, 神田 朋美, 石井 菫女 (金城学院大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 後藤

委員コメント

- 風景の切り取り、消失点の考え方が面白い (後藤)

| 応募作品 (BEST-27) |

024 | 前本 哲志, 植田 雅人, 宮本 皓章 (横浜国立大学)



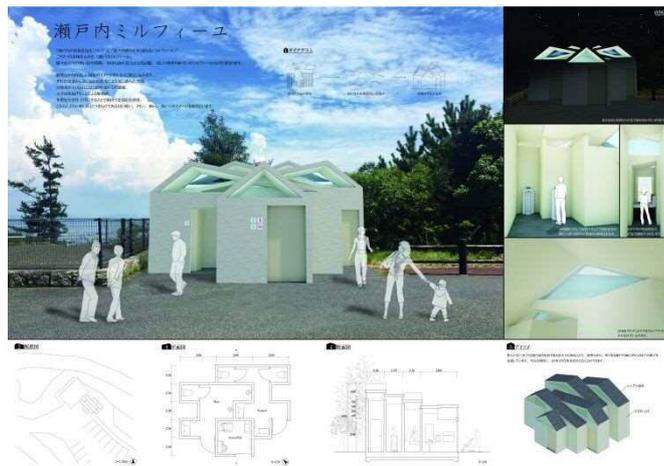
BEST-27 投票した審査委員 | 千葉

委員コメント

○単純な切妻屋根と曲線の壁の構成がきれいだが、お互い切り離されており、実現にあたってはこのような繊細さが失われてしまうのではないかと (千葉)

| 応募作品 (BEST-27) |

026 | 中平 詩歩, 片山 諒 (九州大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○屋根の形状が面白く、瀬戸内の風景にマッチしている (梅村)

| 応募作品 (BEST-27) |

028 | 太歳 風丸, 上池 成樹, 中村 遥 (福山大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○既存を踏まえリニューアルした形で、コスト面の心配がない提案となっている (梅村)

| 応募作品 (BEST-27) |

036 | 馬屋原 嘉乃, 大山 莉穂, 佐々本 佳織, 吉岡 彩佳 (安田女子大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 濱田

委員コメント

○作るのが大変そうだが気持ちよさそうに感じる (濱田)

| 応募作品 (BEST-27) |

039 | 平中 美雪, 安原 みなみ, 藤村 香奈, 岡原 早希
(安田女子大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 濱田

委員コメント

○形態が面白く、開口から木々がちらちらと見えるのが良い (濱田)

| 応募作品 (BEST-27) |

041 | 網本 裕太, 田口 絵理, 亀谷 桜子 (広島工業大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 濱田

委員コメント

○コンクリートの扱いが良く、全体がシンプルである (濱田)

| 応募作品 (BEST-27) |

042 | 除村 高弘, 手塚 俊貴, 滝美 彩喜 (工学院大学)



BEST-27 投票した審査委員 | 宮崎

委員コメント

○多くの制約がある中で景観の良さに絞り、明確な案である点で評価できる (宮崎)

| 応募作品 (BEST-27) |

048 | 松田 星斗, 塚越 仁貴, 北條 太一 (神戸大学・大学院)



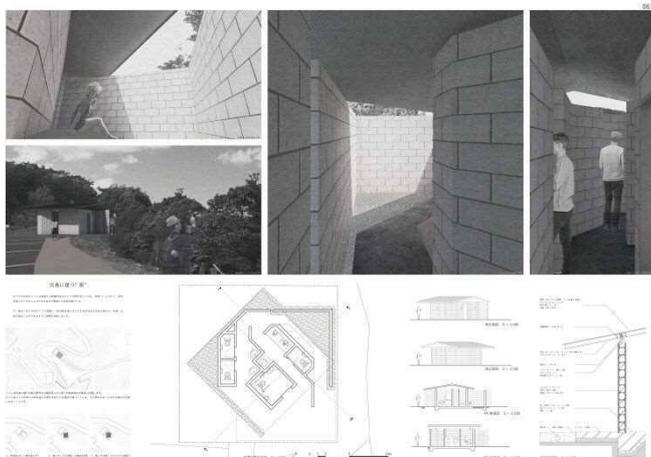
BEST-27 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○向島という地域を意識した提案が良い (梅村)

| 応募作品 (BEST-27) |

061 | 笹川 拓哉, 葛西 純平 (京都工芸繊維大学大学院)



BEST-27 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○外観のシンプルさが良い (梅村)

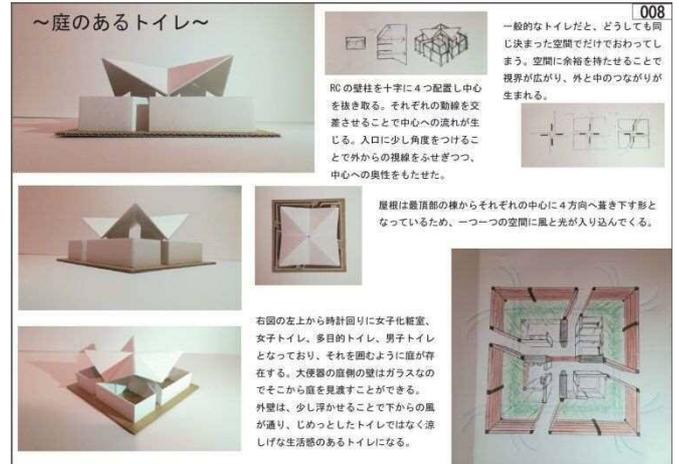
応募作品 |

003 | 盛永 翔馬 (筑波技術大学)



応募作品 |

008 | 明田 辰真 (修成建設専門学校)



応募作品 |

009 | 廣谷 みなみ (修成建設専門学校)



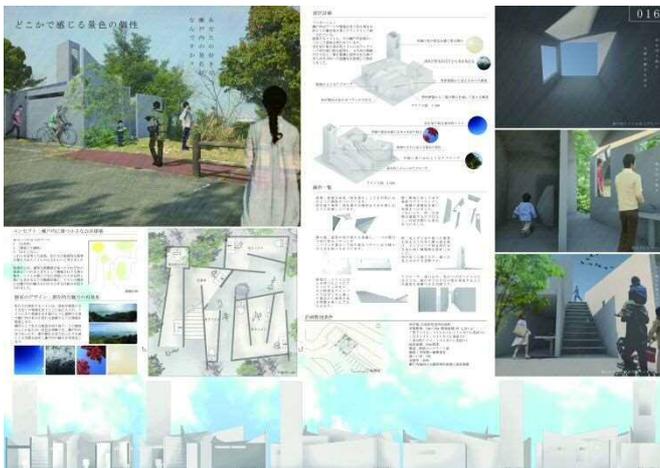
応募作品 |

014 | 岩田 幸恵, 三原 陽莉, 山口 玲 (金城学院大学)



応募作品 |

016 | 高橋 海, 井上 雅也 (神戸芸術工科大学・大学院)



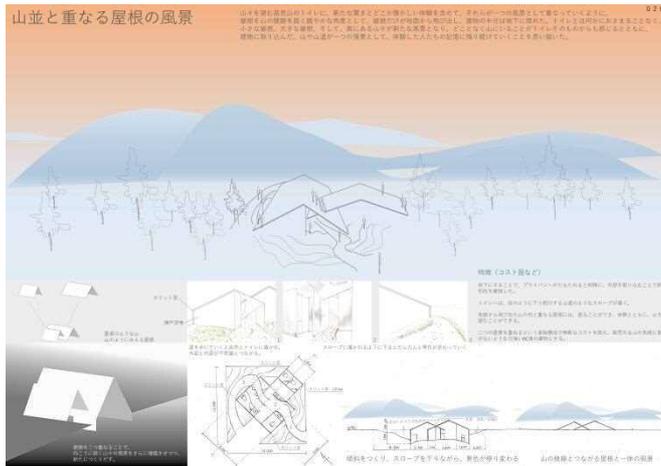
応募作品 |

017 | 薬師寺 晋平 (京都工芸繊維大学)



| 応募作品 |

020 | 山根 啓昂, 岩尾 優輝 (広島工業大学)



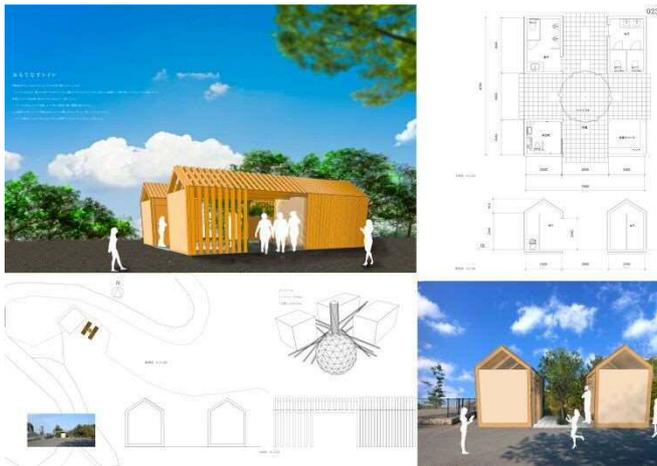
| 応募作品 |

022 | 奥村 光城, 熊谷 和 (九州大学大学院)



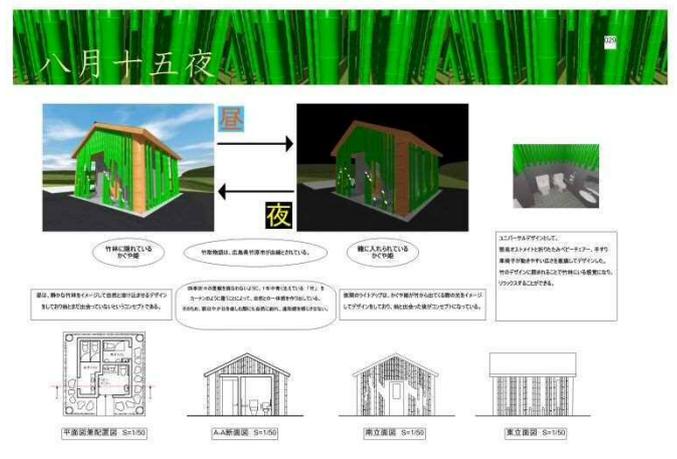
| 応募作品 |

023 | 蝶野 慎明, 井手 陽向美, 山田 菜々, 中島 孝誠 (穴吹デザイン専門学校)



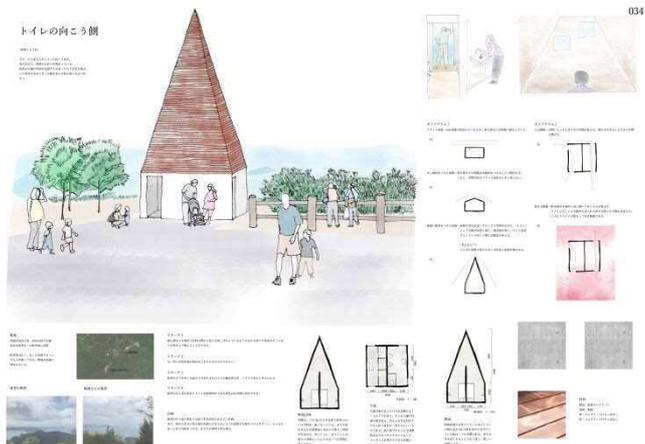
| 応募作品 |

029 | 安田 亮太郎 (福山大学)



| 応募作品 |

034 | 臺本 亜美 (近畿大学)



| 応募作品 |

040 | 大本 裕也 (米子工業高等専門学校)



| 応募作品 |

043 | 深瀬 柚希 (大同大学)



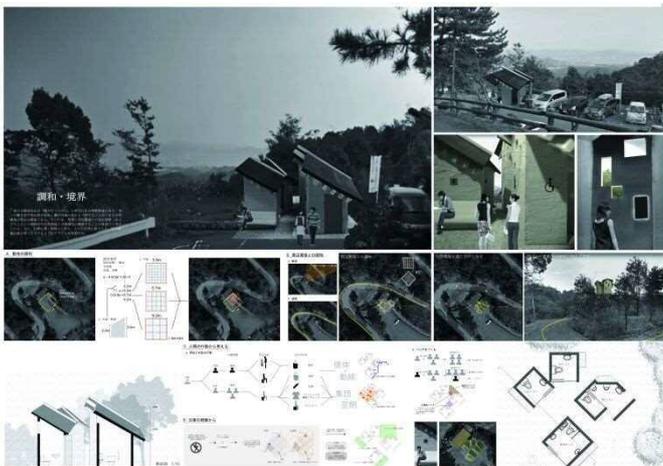
| 応募作品 |

045 | 栗田 直路, 藤原 孝男 (近畿大学)



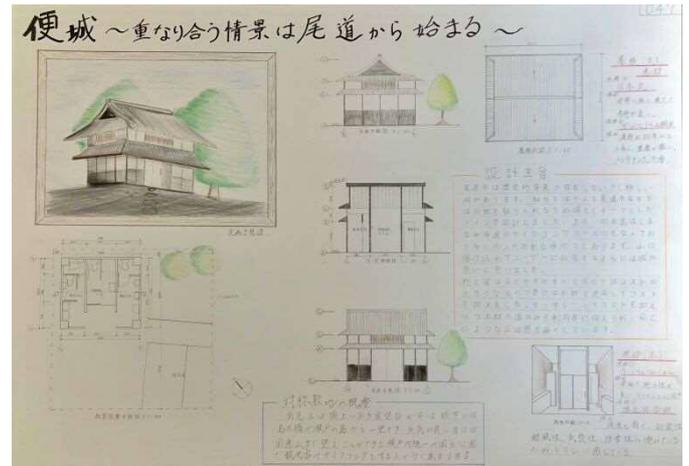
| 応募作品 |

046 | 宗 士淳 (日本大学大学院)



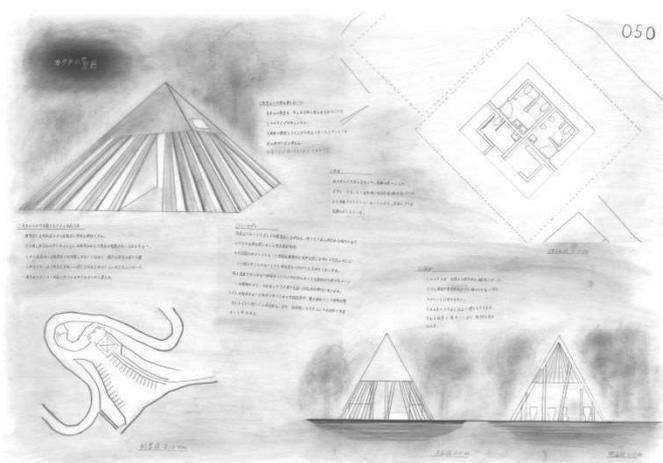
| 応募作品 |

047 | 桐山 幸大, 城間 裕太, 吉松 駿平, 矢野 善大, 手嶋 涼貴 (広島工業大学)



| 応募作品 |

050 | 福岡 千紘 (広島工業大学)



| 応募作品 |

051 | 西下 怜那 (広島工業大学)



| 応募作品 |

052 | 岡田 直樹 (広島工業大学)



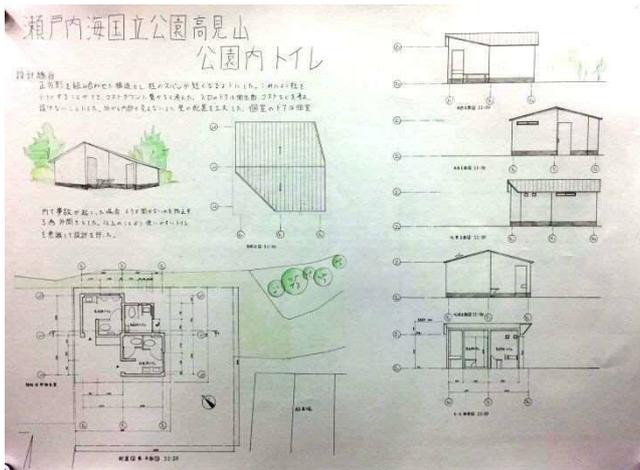
| 応募作品 |

056 | 大辻 雪 (修成建設専門学校)



| 応募作品 |

057 | 林 龍之介 (広島工業大学)



| 応募作品 |

058 | 奥川 航大, 長谷川 直人, 小笠原 蓮 (広島工業大学)



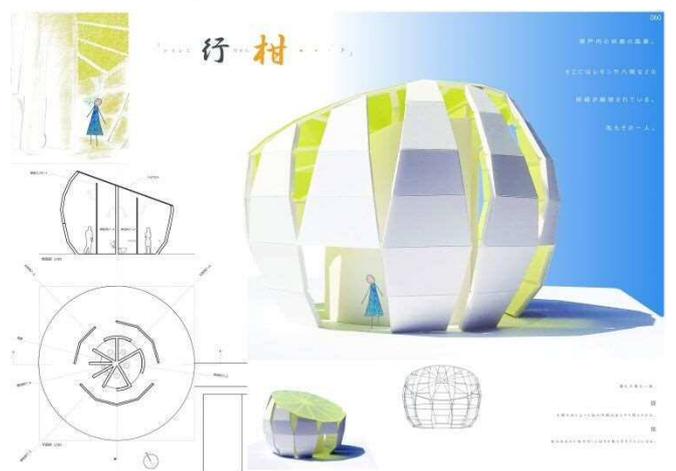
| 応募作品 |

059 | 若狭 拓馬, 田口 可奈, 濱野 すみれ (広島工業大学)



| 応募作品 |

060 | 菊池 琴子, 藤本 梨夏子, 久保田 伶玖, 宮地 梨乃, 西田 紘子, 小川 円香 (広島女学院大学)



広島県